

令和6年度 舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成）現代舞踊新進芸術家育成Project 1

第43回 一日舞踊大学講座2025 ダンスと教育

現代舞踊協会研究企画部では、未来の文化を担う次世代の若者に視点を繋ぎます



助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成））
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

応答する身体

北村明子 workshop

北村明子の創る舞台は、いつもスリルと興奮に満ち、緊迫感のあるもので、観る人の心を揺さぶる。その独自の世界観、明確なコンセプト、卓越した構成力に、身体性が伴った作品は、言葉に表せない感動を呼ぶ。ダンサーたちの身体能力は極めて高く、パワフルで、スリリングなエッジ感に、血が騒ぐ。そこには、リサーチを基盤に練り上げられたコンセプトの上に成り立つ、〈究極の身体〉がある。

2025.2/2 [日]

9時50分～17時00分

会場：スタジオF 豊島区目白2-12-4

JR山手線「目白駅」より徒歩5分



北村明子 workshop

1994年、早稲田大学大学院在学中に、ダンス・カンパニー〈レニ・バツン〉を創設。ダンスと映像、光と音を巧みに交錯させた、先鋭的作品を次々と発表し、一躍、舞踊界の寵児となり、国内外で公演活動を行うが、2009年、レニ・バツンは活動休止し、翌年、ソロ活動に移行、リサーチとクリエイションを行う国際共同制作プロジェクトを展開する。すなわち、その国、土地の音楽、歴史なども含めた文化をリサーチし、考察し、コンテンポラリー作品へと展開させる活動である。

北村明子は、移り変わる社会を見据えながら、普遍的な人間の根源的なものを感性で捉え、自然、風土が生み出した文化のエッセンスを、身体を通して芸術にまで高めることのできる舞踊家である。聡明でクールな凛とした風貌の中に、闘う情熱と人間臭い情愛を秘めているような、ちょっとミステリアスで魅力的な舞踊家であることは間違いない。いまだコロナ後の閉塞感のあるこの世の中にあって、自ら外へ出て、人とコミュニケーションし、新しいものを生み出すヴァイタリティはどこから来るのだろうか。最近の作品では、強くも、優しい、土の匂いのする人間を垣間見た。常に新しい領域を開いていく北村明子のダンスが、どんどん面白くなっていく。

2025.2/2 [日] 会場：スタジオF

9時50分～17時00分 (9時20分より受付)

参加費(税込)：一般 4,500円 協会員 3,500円 学生 3,000円
半日参加 3,000円

定員：30名 (定員になり次第締め切り)

10:00～12:00 ワークショップ

「応答する身体」 講師：北村明子

12:10～13:10

そこが知りたい海外研修 報告者：酒井直之 (イタリア)

14:10～15:40 座談会

「身体のコレスポンダンスー対話と感応」

パネラー：北村明子 楳屋一之 呉宮百合香 加藤みや子

15:50～16:45 受講生によるデモンストレーション

●申込締切 1月24日(金) ●お問い合わせ (一社) 現代舞踊協会事務局
〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-21-3 グレイス代官山402号 TEL.03-5457-7731

●申込方法

現代舞踊協会

検索

Webからのお申し込みは、現代舞踊協会ホームページ内「一日舞踊大学講座」の申込フォームより送信ください。

FAXからのお申し込みは、下記申込用紙に全項目を読みやすい文字で明記の上、左記FAX番号へ送信ください。

FAX 03-5457-7732

主催：一般社団法人現代舞踊協会 企画・制作：一般社団法人現代舞踊協会研究企画部
芸術監督：加藤みや子 馬場ひかり 制作統括：藤井香 制作補佐：細川麻実子 横田 恵 会計：堀 和子



北村明子 (きたむら あきこ)

www.akikokitamura.com

振付家・ダンサー、信州大学人文学部教授。バレエ、ストリートダンス、インドネシア武術を学び、早稲田大学大学院文学研究科在学中の1994年ダンス・カンパニー、レニ・バツンを創設。1995年文化庁派遣在外研修員としてベルリンに留学。帰国後、『finks』(2001)を発表し、世界60都市以上で上演、モンリオールHOUR紙の2005年ベストダンス作品賞を受賞。2003年American Dance Festival(USA)の委託作品『enact oneself』はベストダンス・オブ・ザ・イヤー(ノースカロライナ州)に選出。2010年より、フィールドリサーチとクリエイションを行う国際共同制作プロジェクトを展開。これまでにインドネシアとの国際共同制作<To Belong project>、東南～南アジア国際共同制作<Cross Transit project>を行い、国内外で上演。2018年に発表した『土の脈』は、第13回日本ダンスフォーラム大賞を受賞。2020年からはアイルランド～中央アジア～日本を越境する<Echoes of Calling project>を行い、国内外で3つの作品を発表。2023年より、アジアの国々との新たな国際共同制作『Xstream project』をスタート。第1弾で発表した『Soul Hunter』は、『Echoes of Calling -rainbow after』と共に、第18回日本ダンスフォーラム大賞を受賞した。ACC個人フェローシップグランティスト(2015)。2020/2021年度文化庁文化交流使。



楳屋一之

神奈川県文化スポーツ観光局舞台芸術プロデューサー兼神奈川県立青少年センター支配人。1970年代中頃から演劇活動を開始。「NOISE」(劇作家・演出家、如月小春代表)のプロデューサーとして映像、コンピューター等を駆使した演劇・パフォーマンス公演、劇場・美術館等でのワークショップを制作する。1997年より世田谷パブリックシアター勤務。現代演劇・コンテンポラリーダンスのプロデューサー、劇場部長を務める。2018年より、神奈川県舞台芸術担当部長を経て現職。日本ダンスフォーラムボードメンバー。



呉宮百合香

yurikakuremiya.mystrikingly.com

パリ第8大学(芸術学)と早稲田大学(文学)で修士号を取得後、早稲田大学文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。ダンスを中心に国内外の媒体に公演評や論考を執筆するほか、コーディネーター/ドラマトルクとして多数の公演や展示、フェスティバルに携わる。近年は、笠井勲、川口隆夫、新人Hソケリッサ!、LAND FES、ヨコハマダンスコレクションなどの企画に参加。また美術領域との協働にも取り組んでおり、『MEET YOUR ART FESTIVAL 2024』アートエキシビジョンの共同キュレーターを務めた。北村明子『Xstream project』には、2024年より参加している。



酒井直之

ダンサー。映像作家。東京藝術大学大学院修了。文化庁「新進芸術家海外研修制度」研修員として渡伊。パーキンソン病と共に生きる人々との芸術活動『Dance Well』講師。国内を始め、欧州、中東、アジア諸国での舞台公演に多数出演のほか、RADWIMPSのライブ、森七菜のMV等のメディア出演、ミュージカルへの振付提供等を行う。春日部市を拠点に芸術によるまちづくりを目的としたイベント開催、映像制作等を展開。



加藤みや子

加藤みや子ダンススペース主宰。森嘉子、藤井公、利子に師事。仏・パニョレコンテ、伯・巡回公演(国際交流基金主催事業)、米・フェスティバル巡演等に招聘され高く評価される。83年よりアネックス山川ファクトリーを拠点に各地で五感を開くワークショップやアーティスト交流の場、HHWを開催。江口隆哉賞、ニムラ舞踊賞など受賞。現代舞踊協会常務理事。日本大学芸術学部非常勤講師。

一日舞踊大学講座申込書 *ダンスプラン出演者の方は をして下さい。 所属研究所/舞踊団名

フリガナ
氏名

TEL

E-mail *携帯でも可ですが、諸連絡の都合上、できるだけパソコンのアドレスをご記入下さい。

住所 〒

(○をお付け下さい)

一般/協会員/学生・高校生/半日参加